

R4年度事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

かえで★すくーる

職員数7

配布数 7 回収数7

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3	2	利用日によって人数が多く、狭さを感じる。今後増築または転居予定。現在はスペースを分けたり外で活動。
	②	職員の配置数は適切であるか	7			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4		危なくないよう段差をなくす配慮。玄関に段差がある為すのこを使って対応しているが、避難時には注意が必要。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		1	ホームページ作成中。事業所に掲示する等の対応をとっている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6	1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			独自研修を実施。また配信される各種研修は、出来る範囲でスタッフ全員で参加している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		利用計画書をもとに、保護者と懇談を持ち、課題や思いも聞きながら作成。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3		個々に合わせてビジョントレーニング。アセスメントツールを利用して個々の状態を職員間で共有し、振り返りが出来るようにしていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			子どもたちの「やりたい」の気持ちを大切に、課題や興味関心に合わせた活動を職員間で話し、固定化しないようにしていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			個々の要望を聞きながら、楽しみに利用できるようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合	5	2		子ども受け入れ時間が早く打合せ時

	せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか				間が少ない日もあるが、活動の確認をし、いないスタッフには伝えるようにしている。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有しているか	6	1		振り返りについては、気づいた点等その日のうちに話、事柄を共有出来るようにしている。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			サービス記録のファイルに個別の支援計画を付け、常に目標の検証も含めて記録が取れるように心がける。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	2			
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7				
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1		年間計画については年度当初に保護者をお願いして頂くようにしている。行事や下校時の変更は保護者が連絡をくれる。支援会議等で時間変更の時には早めに連絡をいただけるようお願いをしていく。	
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	5		該当者なし
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	1		支援会議が卒園してから行われるので、相談員をお願いして、園のここの情報を頂けるようにしていく。
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		7			該当者なし
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7				
	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	4		
	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	1			
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7				お迎えの際に話をしたり、個別の見直しの際に懇談の機会を設け、利用しているときの様子や課題について伝え共有している。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行って		6	1		現在は行える場所がないため増築が移転後検討する。

保護者への説明責任等	いるか					
	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に説明	
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			相談に対して悩みを聞きながら、必要に応じて心理士も加わり支援している。	
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3		4	送迎時の保護者同士の会話の手助けをしている。全大会は現在は行える場所がないが検討する。	
	子どもや保護者からの 苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に 迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情窓口を設けて対応	
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			毎月通信を発行し活動予定がわかるようにしている。事業所に入った場所に今月の予定をはりわかりやすくしている	
	個人情報に十分注意しているか	7				
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7				
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	3	交流を嫌がるお子さんがいるが、他事業所との交流を行っている。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6		1	不審者対応については鍵のかかる部屋を用意する等検討中。	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		2	訓練はできていないが、常に周知している。	
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7				虐待防止研修を全員視聴し話し合いをした。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7				
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			6	1	指示書はないが、保護者から相談があった場合、個々で対応するようにしている。
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		1		ヒヤリハットがあった場合は記録し、職員間で共有している。小さな怪我でも記録をとり、安全に活動できるように対策を検討している。